

2010年4月1日から2018年6月20日の間に

川崎医科大学附属病院の腎臓内科外来にて蓄尿検査を実施された

患者さんへお知らせ

課題名：慢性腎臓病患者の病期と食事摂取によるリン出納に関する研究

研究の対象者：2010年4月1日から2018年6月20日の間に川崎医科大学附属病院腎臓内科外来の慢性腎臓病で蓄尿歴並びに栄養指導歴のある患者

研究の目的・方法：腎機能の低下と共に高リン血症になることは知られていますが、食事からの摂取P量と排泄リン量の関係を病期毎で行った研究は皆無です。慢性腎臓病保存期での食事からのP摂取量と尿中への排泄量の関係をCKDの病期毎でのP出納について明確にすると共に、今後の栄養指導に活かせるか否かを検討するために後方視的調査研究を行います。方法は、食事内容の記載から栄養摂取量の算定と蓄尿から得られたたんぱく質量、食塩量、K、P量の割合から慢性腎臓病の病期毎（CKD分類2期～5期）での尿中への排泄率並びに腎機能低下の進行速度を比較検討します。介入を伴わない既存資料のみを用いた後方視的調査研究であるため、患者さんに新たなリスク、負担はありません。また、経済的負担・謝礼はありません。

研究期間：倫理委員会承認日～2020年3月31日の予定

研究に用いる情報の種類：性別、身長、体重、血液データ、蓄尿データ等

お問い合わせ先：

【研究責任者】附属病院 栄養部 管理栄養士 八代真季

TEL 086-462-1111(内線 22120) FAX 086-468-1111

ご希望がありましたら、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。また、当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

利益相反：本研究には資金を要さない研究です。また、本研究を実施する関係者には大塚製薬（株）、中外製薬（株）、鳥居薬局（株）、MSD（株）、帝人ファーマ（株）、ファイザー（株）、日本ベイリンガーインゲルハイム（株）、第一三共（株）、大日本住友製薬（株）、アステラス製薬（株）、武田薬品工業（株）より奨学寄附金の受入れがありますが、この内容を利益相反委員会に申告し適正に管理されています。

※研究成果は論文や学会等で発表いたします。研究に関するデータは論文等発表から5年後に破棄いたします。